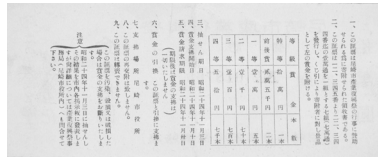


# 誌上レファレンス

○このコーナーでは、地域研究史料館が新たに入手し、整理を終えた史料を中心に、概要を紹介していきます。



(表)



(裏)

写真は尼崎市産業復興祭賛助券

## 地域研究史料館

武内良高氏収集文書

一 文書群名 武内良高氏収集文書

二 出所 武内良高氏

三 地名 |

四 行政区分 |

五 役職等 郷土史研究家

六 歴史 武内氏は兵庫史学会の会員、「徳川時代

撰津国武庫郡兔原郡の領知変遷」(「兵庫史学」創刊号、昭

和一九九年)、「徳川時代撰津国八郡の領知変遷」(「兵庫史

学」二、昭和一九九年)等の論考がある。また、昭和一五年

(二九四〇)から、同一四年まで『瓦木村誌』(西宮市役所、

昭和二七年)刊行のための史料蒐集・研究・執筆にあ

たっている。

七 伝来 昭和四八年九月、武内良高氏の夫人・た

か子氏より尼崎市史編集室が借用。平成一六年(二〇〇

四)一二月に整理・目録作成を完了、所蔵史料群として

登録した。本文書群は、構造・内容から武内氏が研究の

ため収集したものと推定される。

八 点数 一一点(目録件数二一件)

九年 代 元文二年（一七三七）～昭和

一〇 構造と内容 本文書群は、「藩治職制」「代替わり

につき御条目」（写し）や金銀引替関係といった尼崎藩

関係史料と、作成主体が不明（尼崎藩関係か）の御家中

儉約の定め、今川状、武内氏の研究ノート等から構成さ

れる。

一一 関連史料 なし

（文責 近藤浩二）

今井忠雄氏所蔵史料

一 文書群名 今井忠雄氏所蔵史料

二 出所 今井家

三 地名 兵庫県川辺郡大西村／川辺郡立花村大西

／尼崎市大西／尼崎市大西町ほか

四 行政区分 兵庫県第十区／三反田組戸長役場／立花

村／尼崎市

五 役職等 未詳

六 歴史 大西地区は、三反田及び上ノ島・栗山と

ともに中世の生島荘・生島村（郷村）の故地であり、市

域中心部・庄下川の上流地域に位置する。昭和一四年

（一九三九）に、現在の立花町三丁目、大西町一～三丁目

一帯において立花・生島土地区画整理事業が開始され、

宅地造成が進んだ。

七 伝来 平成一二年（二〇〇〇）五月、大西地区

の農業史聞き取り調査の際に原蔵者の今井忠雄氏より借

用。整理・目録作成を完了し、一九年二月に史料館へ寄

贈された。

八点 数 一三点（目録件数一三件）

九年 代 明治三二年（一八九九）～昭和二四年（一

九四九）

一〇 構造と内容 本文書群は主に、昭和戦前期に大西

地区を中心に行なわれた土地区画整理事業に関する土地

実測図からなる。また明治三〇年代の大西村土地名寄簿

も含まれる。

一一 関連史料 なし

（文責 松迫寿代）

第一期種痘済証

一 文書群名 第一期種痘済証

二 出所 時久家

三 地 名 尼崎市

四 行政区分 尼崎市

五 役職等 未詳

六 歴 史 種痘は牛痘を接種することにより、天然痘感染を予防する方法。国内では幕末から各地に伝播していき、明治政府は明治九年（一八七六）に天然痘予防規則を制定し、強制接種を定めている。原藏者の大山澄子氏（旧姓・時久）は三歳まで尼崎市に在住（大正一〇年・一九二二生）。

七 伝 来 大山澄子氏から平成一八年（二〇〇六）四月に寄贈された。

八 点 数 一点（目録件数一件）

九 年 代 大正一一年（一九二二）

一〇 構造と内容 大正一一年の尼崎市定期種痘（第一期種痘）を受けた九七六名のうちの一人が大山氏であり、本史料は第一期種痘を完了した証明書にあたる。

一一 関連史料 なし

（文責 近藤浩二）

尼崎伸銅株式会社営業案内

一 文書群名 尼崎伸銅株式会社営業案内

二 出 所 |

三 地 名 尼崎市大洲村／尼崎市東向島東之町

四 行政区分 尼崎市

五 役職等 |

六 歴 史 尼崎伸銅株式会社は、古河コンツェルンの精銅・伸銅部門の再編策により、大阪電気分銅との折半出資で大正九年（一九二〇）六月に設立された。尼崎伸銅は業績不振が続けたが、日本伸銅と改称した大阪電気分銅とともに昭和八年（一九三三）古河電気工業に合併がはかられ、尼崎伸銅所と大阪伸銅所となった。つづいて両事業所を統合して、銅やアルミ、合金などの生産を目標して新工場建設が計画され、昭和一一年大庄村宇道意に有数の設備を備えた新しい大阪伸銅所が完成した。

七 伝 来 古書籍商より本史料を入手した尼崎戦後史聞き取り研究会から、平成一八年（二〇〇六）六月に寄贈を受けた。

八 点 数 一点(目録件数一件)

九 年 代 大正一一年(一九二二)～昭和三年(一九

二八)頃

一〇 構造と内容

尼崎伸銅株式会社・大阪電気分銅株式会社  
の営業案内。製造能力・製造範囲・営業品目・工場内写真等の記載がある。

一一 関連史料

なし

(文責 近藤浩二)

株式会社尼崎製鋼所工員募集案内

一 文書群名

株式会社尼崎製鋼所工員募集案内

二 出 所

—

三 地 名

尼崎市 中浜新田／尼崎市中浜町ほか

四 行政区分

尼崎市

五 役職等

—

六 歴 史

尼崎製鋼所は昭和七年(一九三二)三月

設立。一二年、銑鉄自給のための尼崎製鉄所を設立(久

保田鉄工所との折半出資)、一八年に両社は合併して銑鋼

一貫メーカーとなる(社名は尼崎製鉄)。二一年、尼崎製

鉄から尼崎製鋼所が分離独立。二九年、会社再建案をめぐ

る争議の最中に倒産、翌年神戸製鋼の傘下で尼崎製鋼所として再発足した。

七 伝 来

平成一四年(二〇〇二)五月に古書籍商

より購入、一五年三月に受け入れを完了した。

八 点 数

一点(目録件数一件)

九 年 代

一九四〇年代前半

一〇 構造と内容

本史料は、尼崎製鋼所の工員募集要項である。年代が明記されていないが、「未成年素人工」

の給料が賃金統制令(昭和一四年四月施行、一五年一〇月改

正、二二年九月失効)によつて決められていることから、

一九四〇年代前半の史料と推測できる。応募資格・検査

方法(体格の基準)・待遇・福利施設(健康保険・社宅等)

等の項目があり、戦時下の労働者募集方法や労働条件を

知ることが出来る。特に福利施設の項目には在郷軍人会

分会の活動が記述されており、注目される。

一一 関連史料

なし

(文責 島田克彦)

尼崎市産業復興祭賛助券

一 文書群名

尼崎市産業復興祭賛助券

- 二 出 所 |
- 三 地 名 尼崎市
- 四 行政区分 尼崎市
- 五 役職等 |
- 六 歴 史 尼崎市産業復興祭は、昭和二十四年（一九四九）一月一五日から一月三日にかけて開催された。  
「復興第四年の市制実施記念行事として産業の振興と文化の向上」を目的とし、文化・スポーツなど各方面において行事を開催した。
- 七 伝 来 古書籍商より本史料を入手した尼崎戦後史聞き取り研究会から、平成一八年（二〇〇六）七月に寄贈を受けた。
- 八 点 数 一点（目録件数一件）
- 九 年 代 昭和二十四年（一九四九）
- 一〇 構造と内容 尼崎市産業復興祭行事に対する賛助寄付金の領収書で、宝くじの形をとる。尼崎市産業復興祭事務局（尼崎市役所内）発行。
- 一一 関連史料 なし

（文責 松迫寿代）

### 史料館刊行物販売のご案内

『図説尼崎の歴史』上下巻セット	四、二〇〇円
『尼崎市史』	
本編 第一巻 原始～中世	在庫切れ
第二巻 近世	在庫切れ
第三巻 近代	在庫切れ
別冊『尼崎の戦後史』	在庫切れ
史料編 第四巻 古代・中世	三、五〇〇円
第五巻 近世（上）	四、〇〇〇円
第六巻 近世（下）	四、〇〇〇円
第七巻 近代（上）	四、〇〇〇円
第八巻 近代（下）	四、〇〇〇円
第九巻 統計	三、五〇〇円
別編 第一〇巻 文化財・民俗	三、五〇〇円
第一一巻 考古	三、五〇〇円
第一二巻 現代	四、〇〇〇円
第一三巻 年表・索引等	四、〇〇〇円
『尼崎の地名』	二、〇〇〇円
『尼崎地域史事典』	三、〇〇〇円
『地域史研究』第一～三巻	各二、〇〇〇円
一冊販売単価 七五〇円（二部在庫切あり）	
第三三巻以降	各一、五〇〇円
一冊販売単価 八五〇円	